

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 H組～E組

教科担当者：（H組：山崎・伊東）（A組：山崎・伊東）（B組：山崎・伊東）（E組：山崎・青地）（組： ）（組： ）

使用教科書：（大修館書店 現代の国語 ）

教科 国語 の目標： 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 現代の国語 の目標： 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学期	資料を駆使する 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的 に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。	資料と文章の関係を読む 「安くておいしい国」の限界／インターネット時代の音楽産業白紙 紙 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	○	○	○	【知・技】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的態度】 ・資料と文章の関係を読み取ることに興味をもち、的確な情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	4	
	定期考査								○	○	1
	情報を比較する・他者を動かす 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的 に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。	文章を比較して読む 「美しさの発見」について（脳は美をどうとらえるか）／空気を読む ／「個人」から「分人」へ ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 ・細かな情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的態度】 ・複数の文章を比較して読むことに興味をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	○	○	○	4	
	説得力のある資料をつくる ・提案を検討する際に必要な要素を押しさえる。 ・効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、読者の示し方や読者のしきたりなどを考えながら、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・企画書を書く活動に興味をもち、効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫して書こうとしている。	○	○	○	2		
定期考査								○	○	1	
2 学期	他者を動かす 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的 に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。	資料を用いて発表する ・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 ・資料にもとづいて、効果的に発表する。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的態度】 ・プレゼンテーションをすることに意欲をもち、聞き手の心を動かす話し方を工夫しながら発表しようとしている。	○	○	○	6	
	定期考査								○	○	1
	他者を動かす 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的 に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。	社会への視点② さまざまな広告 ・広告やCMなど、実用的な表現の特色をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・広告やCMに興味をもち、その特色をとらえようとしている。	○	○	○	6	
定期考査								○	○	1	
3 学期	考えを発信する 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的 に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。	主体的に読む 白／作業ロボットの悲劇 ・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・読み取った情報を活用する。	○	○	○	【知・技】 ・推論のしかたを理解し使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的態度】 ・必要な情報を読み取ったり、その情報を活用したりすることを意識しながら、文章を読もうとしている。	○	○	○	5	
	考えを発信する 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的 に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。	結論を出すために話し合う ・異なる意見を持つ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 【主体的態度】 ・結論の出し方を工夫して話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4	
	定期考査								○	○	合計 35

